

令和元年度

第1回八段審査講習会 (一財)新潟県剣道連盟

期 日 9月22日(日) 午前9時～午後4時まで

会 場 新潟市鳥屋野総合体育館 武道場

対 象 令和元年11月・令和2年5月 八段審査会受審予定者及び受審資格年限に達していないものの、今後受審を予定している7段受有者(受講者は20名)

講 師 教士八段 白井吉満 教士八段 山田義雄 教士八段 高橋直志

講習内容(午前)

1. 三講師の講話として
各講師から合格までの歩みを話していただき、合格までのビデオや合格時のビデオを解説していただいた。
2. 評価の観点として
山田講師から二次審査のビデオを見て講習生各自が合否を判定し、各自の観点と審査員の観点を確認する。いわゆるズレに気づく。
3. 講習生全員が模擬立会を行い、三講師からそれぞれ指摘指導をいただいた。

(午後)

- 4 模擬審査を実施
審査形式で実施しました。審査用紙(評価票・10段階評価)で三講師に審査、評価していただいた。
- 5 基本稽古及び2分間の回り稽古を実施
高橋講師による基本稽古は①左足について②踏み込みについて③打突姿勢について④大きな竹刀操法について等の指導をいただきました。さらに回り稽古4本を充実した稽古をしました。
- 6 三講師による指導稽古・講習生の相互稽古を実施しました。
- 7 閉講式では
この度の講習のまとめとして、三講師から懇切で的確な講評をいただきました。

総 評

本連盟が合格への環境づくりとして、令和元年度1回目の「八段受審者講習会」を開催しました。講習会終了後、受講生からは、「意義深い講習会でした。」「得たものを活かして行きたい。」等の感想を得ました。それは内容が今までに無い濃いものであったからと言えます。

1の内容は、各講師の合格までの取り組みや一次、二次審査をビデオでもって詳細に解説していただきました。

2の「評価の観点」にあっては、二次審査のビデオを見て、講習生各自の観点で合否を判定して、審査員の観点とを確認する内容でした。所謂、「ズレ」の確認と修正ができたのではないかと思います。今後の稽古の在りようを考えさせられた今講習会の核心の部分ではなかったかと思われま。

3の模擬立会は三講師それぞれから仔細な評価をいただきました。3の内容を活かして4の内容に入ります。模擬審査であります。審査形式で行い、審査用紙(実

技評価票)で三講師に審査していただきました。

「実技」、「構え」、「品位、風格」にあっては優、良、可の3段階評価をして、総合評価として1～10の評価をしていただきました。ここでの講習生へのアドバイスはなく、評価票がすべてでした。熱の入った講習で終了時間が切迫する中、5の基本稽古、回り稽古、6の指導稽古、相互の稽古で修了しました。

最後に昨年の高橋講師が参加された八段合格者研修会で、合格者が異口同音に「向いている方向は同じ」と言われたことが、印象的でした。まさしく今回の講習会のねらいとするところでした。全剣連の目指す正しい剣道の継承を担う資格を体現できる人が、最高位の八段位と考えます。

台風の影響により暑さ厳しき折り、白井、山田、高橋各講師には熱心なご指導をいただき心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。また参加された先生方の益々のご精武を祈念申し上げ、報告・総評とさせていただきます。

審査講・講習委員長 遠山 正宣